

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 21 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 10 住宅と宅地の安定供給				
部章節No.	第1部 第4章 第1節	評価担当部	建設部	関連部局	環境経済部
総合計画書掲載頁	70 頁	記載責任者	平本和男		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	自然と調和した快適なまちづくり			
	施策の分類【章】	快適な生活環境の整備			
施策の目的 (基本方針)	良好な住宅地の開発・誘導をはかり、質の高い住環境づくりにつとめるとともに、町営住宅の計画的な建て替えなどにより、住宅困窮者への住宅の安定供給をはかります。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	○ 本町の住宅地は、東部(中津・高峰地域)と西部(半原・田代)の市街化区域を中心に形成されている。また町営住宅については、「町営住宅管理計画」に基づき、老朽化した木造住宅の建て替えを推進しており、建て替えに際しては、高齢者・障害者世帯向け住宅の確保に努めるなど、町営住宅の供給を計画的に進めている。
法令・制度 の変更	
施策の課題	○ 既存の住宅地において、良好な居住環境の充実に努める一方、今後の新たな住宅需要に対しては、市街化区域内の農地や未利用地において、用途地域などに適応した宅地化を促進する必要がある。町営住宅については、今後も適切かつ計画的な維持補修に努め、町営住宅の長寿命化を図ることが重要となっている。

3 施策の成果指標 (基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。)

住民満足度	指標（単位）	総合計画 策定時		中間値 （26年度）	目標値 28年度	達成度
	『住宅と宅地の安定供給』について「満足」と感じる住民の割合	19.3 %		17.7 %	29.0 %	C

主 な 目標指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	勤労者住宅資金利子補給制度の利用 件数	増	136	99	85	84	150	C
								—
								—

4 施策の活動指標 (「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。)

主 な 活動指標	指標 (単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
								—
								—
								—

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	質の高い住環境	A			
2	公的住宅の充実	C			

6 総合評価

成果指標評価	C	活動指標評価	—	進捗状況調査結果	B
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価

C
(自動判定)

➡ 構成事務事業の統合・廃止の検討を要する施策です。

総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点から踏まえて分析してください。）

- ・3,000㎡以上の開発行為に際しては、開発指導要綱に基づく指導を行っており、26年度においては、住宅開発による帰属公園(旭硝子社宅跡地)による新設のほか、開発行為による帰属公園用地を活用した公園整備を行うなど、緑地等の確保に努めている。
- ・町営住宅については、住宅内をはじめ、給排水給水施設や敷地等の維持管理のほか、外壁改修工事(桜台・諏訪住宅)を実施するなど、長寿命化に向けた維持管理に努めている。

7 今後の方向性

方向性	☐ 現状維持 ☒ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	・現行の計画目標年度が平成27年度となっている「町営住宅管理計画」及び「町営住宅ストック計画」の見直しを行い、この見直しの中で、適切な管理戸数を検討するとともに、修繕・改修の年次計画を策定し、事業費等を平準化させることにより、町営住宅の良好な住環境や長寿命化を図っていくことが必要である。

8 庁内行政評価委員会コメント ※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]